

欄に記入  
素点のこと  
は記さない

素点番号

素点

I

II

III

令和三年度  
入学試験問題  
解答用紙

国語

国語総合(近代以降の文章)・現代文B

第一問

a	器官
b	洞察
c	購読
d	並列
e	挿入

問二 感覚与件 f

対象の認識 F

具体的な対象 f

興味 F

問三

音楽も抽象画もともに具体的な対象を持たずただ興味だけが表現され  
ている芸術であり、漱石が自分の小説の中でそうした芸術の可能性を表現  
しているとは筆者が考えたから。

問四

Iは「f」の集積によって「F」を形成する。

IIは「F」を「f」によって疑い解体する。

問五

ピカソが『アヴィニヨンの娘たち』という抽象画を描く一年前に、そうした絵画  
技法を『草枕』の中で描いた漱石の先進性を指摘しようとする意図。

問六

乱調

問七

形式面では、異なる言語形式を混在させたり、規定された結論に読者を導  
かなかったりしている点で実験的であり、内容面では、抽象的な興趣を画にし  
ようとする画工を登場させたり、女の表情をめぐる画工の錯綜した思考  
を描いたりしている点で実験的である。

問八

も	学	積	既
面	論	に	定
白	い	よ	の
い	で	フ	概
草	示	テ	念
枕	し	解	像
結	体	さ	と
上	未	れ	り
い	に	た	と
う	収	り	め
作	斂	再	も
品	々	構	な
を	れ	築	い
書	な	さ	敷
い	い	れ	限
た	中	た	り
と	え	り	な
い	ど	る	感
う	こ	こ	覚
こ	を	と	印
と	読	ん	象
	で	文	の
			累

(以上百字)

第二問

問一 エミちゃん

二度言っても友だちの名前をなかなか覚えてくれない母に対するもじかしい  
思い。

問三 母の使う言葉は、中国語と台湾語を断片的に繋ぎ合わせたような独特のものであるが、その母から生まれ生活をともにしてきた縁珠には自然に理解できるものであったから。

問四 日本に住んでいながら、母が友だちにはわからない言葉を話すせいで、自分がいちいち「通訳」することが苦痛であるばかりか、母にそうした役割を強制されていくように感じていたから。

問五 日本の小学校に通う縁珠は、ミニちゃんを「日本人」として意識することはないが、日本に移住してもなお台湾人として生きる母にはそうしたことか理解できないと思っっているから。

1 母が話すのは厳密には中国語ではないのに、ミニちゃんにやめが中国語であると誤解させてしまっただけでなく、彼女に自分の答えが正解だ、などと大喜びさせてしまっただから。

2 日本で台湾人として生きる母と、入生の大半を日本で生きてきた自分との間には、抜きがたい隔たりがあり、その母に日本人の恋人と会って来たことを告げない自分にやましさを感じたから。

第三問 問一 自分の悩みを、自分を笑うことで解消するよう助言されたから。

問二 医者に助言を求めにやってきた男の素性を、話の聞き手に気づかれないように、すること。

上質な笑い  
問三 芸術の域に達した鈴木本演芸場の客席の笑い。

そうでない笑い  
観客の鬱憤を晴らすだけのボードビルでのショーの笑い。

問四 「外れ」「当たる」という「くじ」に掛けた対句的な語を交え印象深く表現している。

問五 洗練された芸が受け継がれていく鈴木本演芸場に対して敬意を払う態度。

問六 ハリウッドが、歴史に培われた芸本来のあり方を欠き単なるショービジネスネスと化して消えていったボードビルと同じ末路を辿るのではないかという見方。